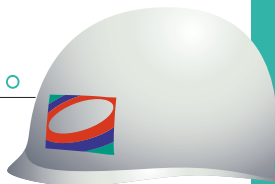


# とにかく、安全。それが、原点。



コスモ石油にとって、安全管理の徹底は企業活動の原点です。

安全に関する行動指針を定めて、従業員のみならず、地域住民の安全の確保を図るとともに、地域社会との共生に努めています。

※安全に関する行動指針：「安全、安定操業の維持発展を最重要課題のひとつと位置付け、可燃物、高圧ガスを取り扱う事業所では、従業員のみならず、地域住民の安全の確保を図るとともに、地域社会との共生に努める」（コスモ石油グループ企業倫理規程より）

## 安全管理システムの導入

2003年度は、継続的な安全レベルの向上を目的として、従来の安全管理活動と保安管理強化活動の成果を体系化し、「PDCA型の製油所安全管理システム(SMS)」を構築しました。

2004年度からは、構築したSMSに、装置の安全性評価システムを融合させて、本格的に運用を開始し、自主保安の一層の強化に努めます。

## 製油所などの安全操業の仕組み

所長をトップとする安全衛生委員会を組織して、さまざまな安全活動の計画策定や実績報告を行い、安全の確保に努めています。

## 操業事故ゼロを実現

2003年度の製油所の操業事故は0件、従業員の労働災害数は休業災害0件、不休業災害1件でした。

千葉製油所の無災害記録は延べ1,570万時間（2003年12月末現在）で、石油業界No.1を維持しています。

## 未然防止と発生時の早期対応両面から安全管理を徹底しています

安全管理は、災害を未然に防ぐ「未然防止」と、万一災害が発生したときに被害を最小限に食い止める「発生時の対応」の二つの側面から取り組んでいく必要があります。当社では、製油所、油槽所、物流、SS（サービスステーション）の各段階で、この二つの側面について、ハード、ソフト両面の対策を実施して、安全管理の徹底に努めています。

## 未然防止・早期発見

### ハード対策

**製油所 油槽所**

- ・設備設計時の安全配慮
- ・安全機器の設置
- ・異常監視機器の設置

**SS**

- ・設備設計時の安全性配慮
- ・静電防除シートの設置
- ・オーバーフロー防止設備設置

### ソフト対策

**製油所 油槽所**

- ・運転管理・工事管理・設備管理の徹底
- ・危険予知運動（KYT、ヒヤリ・ハット）
- ・事故事例の水平展開
- ・教育シミュレーターを活用した運転技術教育
- ・小集団活動など

**SS**

- ・顧客への静電防止啓発ポスター標示
- ・誘導レーンの明示
- ・禁煙標示
- ・セルフSSでの従業員による監視

## 発生時の対応

### ハード対策

**製油所 油槽所**

- ・防火設備、資機材の設置
- ・保安用保護具の設置
- ・大型化学消防車などの設置
- ・機橋にオイルフェンス設置



総合防災訓練の様子

**SS**

- ・消火器、消火設備の設置
- ・防火標設置

### ソフト対策

**製油所 油槽所**

- ・災害対策組織の整備、確立
- ・消防火訓練
- ・相互援助体制の整備
- ・マニュアルの整備



自衛消防隊(消防車)

**SS**

- ・消火訓練の実施
- ・防災教育の実施
- ・SS危機・安全管理マニュアルの整備



SS施設安全点検記録帳

## 環境中期計画

## 「ブーア(BlueEarth)21」の現状と目標

「ブーア21」では、「環境中期計画スローガン」を掲げ、9つのテーマを設定し、部門ごとに目標達成に向けて取り組みを進めています。

環境中期計画スローガン  
環境で選ばれるコスモ石油

—真の環境先進企業を目指す—  
企業市民として社会的責任を果たす 環境保全と経済性の両立

## 2003年度の目標と成果

2003年度の重点テーマとして、全社員で取り組む草の根活動と、リスクマネジメントを強化するための「ゼロエミッション」「グリーン購入」「土壌環境対応」を設定。体制や実行計画など、継続的に取り組んでいくための土台作りを力を入れました。

テーマ	取り組み	2003年度の主な取り組みの進捗	関連頁
①温暖化対応 CO <sub>2</sub> 削減と 新エネルギーへの取り組み	省エネルギー	製油所の省エネルギー、エネルギー消費原単位を10.7%削減(1990年度比)	13,16
	新エネルギー	風力発電の事業化着手/SSソーラーパネル4件設置	10
②汚染物質排出削減 法規制の遵守と 産業廃棄物の削減	大気・水質	製油所の大気汚染・水質汚濁物質の排出レベルを法規制値以下に維持継続	—
	産業廃棄物	製油所の最終処分量を87.4%削減(1990年度比)	—
③土壌環境対応 実態把握・対応と未然防止の推進	SS	未然防止策として、EM管理ポイント(SS管理ツール)、啓発策推進、自主点検等の実施	14
	他事業所	11ヵ所で土壌調査実施、全事業所で設備の維持管理と日常点検の徹底	—
④省資源 リデュース・リユース・リサイクルの 推進による一般廃棄物の削減等	紙	電算帳票類を33.3%削減(2002年度比)	14
	日用品	全事業所で分別回収・再資源化の調査実施、全社推進組織「オフィスクリーンチーム」整備	—
⑤製品の環境負荷低減 環境負荷の低い石油製品の供給	軽油対応	2003年4月より硫黄分50ppm以下の軽油の全国供給実施	10
	ガソリン対応	2005年からのサルファーフリーガソリン供給に向けた準備実施	10
⑥グリーン購入 グリーン購入の拡大	資機材・工事・事務用品	アンケート調査を実施し、グリーン購入基準策定	—
	グリーンサプライヤーからの購入	—	—
⑦研究開発 環境技術開発と新エネルギー分野 での技術開発	石油製品	サルファーフリー軽油製造用高性能触媒の開発継続	—
	環境技術	開発した排水処理装置余剰汚泥減容化システムの実用運転での技術サポート実施	—
	新エネルギー	開発した土壌中油分評価技術の製油所、SSでの利用 天然ガスからの液体燃料製造装置において開発触媒の実証化試験実施	—
⑧環境貢献プロジェクト 温暖化防止を中心とするプロジェクトの 継続的な展開	環境保全技術協力	環境関連技術の海外移転実施(ゼロフレア、省エネなど)	7,8
	「エコ」カードプロジェクト	地球環境温暖化防止を主題に①開発途上国支援、②環境教育に資するプロジェクト継続実施	3,4
	社会貢献	「コスモ子ども地球塾」、「コスモ アースコンシャス アクト」など実施	5
⑨環境経営推進施策 環境マネジメントの継続的な推進と 様々なステークホルダーへのコミュニケーション	環境マネジメント	階層別研修で環境教育を実施	—
	コミュニケーション	環境出版物、広告、WEBによる環境情報の発信継続	6,裏表紙

## 2004年度の計画

2003年度に引き続き、「ゼロエミッション」「グリーン購入」「土壌環境対応」を重点テーマに設定。環境中期計画(第一期)の最終年度となる2004年度は、全テーマの目標達成をめざします。

### ゼロエミッション

さらなる産業廃棄物最終処分量の削減  
最終処分量/発生量=1.5%以下

### グリーン購入

資機材・工事等のグリーン購入の実施と対象範囲の拡大  
グリーンサプライヤーからの購入実施と対象範囲の拡大

### 土壌環境対応

未然防止の推進  
SS施設の自主点検と対応の実施